

分科会  
産学官連携のグローバル展開

主査 米倉 誠一郎  
一橋大学イノベーション研究センター長

# 産学官連携のグローバル展開

主査 米倉 誠一郎 一橋大学イノベーション研究センター長

パネリスト 朝霧 重治 (株)共同商事コエドブルワリー 代表取締役  
副社長 兼 COO

荒川 亨 (株)ACCESS 代表取締役社長

アレン マイナー (株)サンブリッジ 取締役創業者

山海 嘉之 筑波大学院大学システム情報工学研究科  
教授

# 問題提起

1. グローバル発信を可能とするベンチャービジネスのあり方を多角的に検討する
2. 産学官連携は役に立つのか

# 論 点

- 1.新事業開発・起業の現状
- 2.日本の強み
- 3.日本の弱み
- 4.産学官連携のあり方

# 主な意見

- COEDOビール
  - 本物志向がビジネスになる
  - 世界標準
  - 発信のためのネットワーク
- ACCESS
  - 世界標準をとる
  - IPO以前は黒字、以降は赤字
  - ソフトウェアの重要性
- Sun Bridge
  - 日本市場は悪くない
  - グローバル展開が難しい
- Cyberdyne
  - 世界に日本がいてくれてよかった
  - 産学官民における民の役割

# まとめ

1. 日本のポテンシャルは凄く高い
  - 2000年以降50%50億円(米22社、日本12社、中27社、印10社)
  - しかし、中途半端に大きい故に内向き
2. 本物志向はビジネスになる
  - 外部資源の利用(アウトソースではなくチームへ)
3. 世界標準をはじめから狙え
4. 口先の「選択と集中」から本当の「選択と集中」へ